



ぶらっと
ハロウィン訪問

黎
明

厚岸町立特別養護老人ホーム
心と園
広報委員会発行

10月31日はハロウィンでしたが、心と園には少し早めの28日に、「ぶらっと」さんから子供たちとスタッフさん、ボランティアさんが仮装をして心と園に訪問してくださいました。子供たちと一緒に、順番に自己紹介を行い、大きな声で名前を名乗られたり、名前に使われている漢字の説明をされたり、緊張されてしまう方もいらっしゃいましたが、皆さんそれぞれご挨拶されていました。自己紹介後に「トリック・オア・トリート！」と順に並ぶ子供たちへ、入所者様よりお菓子をひとつずつ手渡していただきました。短い時間ではありましたが、活発な子供たちと交流し入所者様の皆さんもとても元気をもらえたようです。



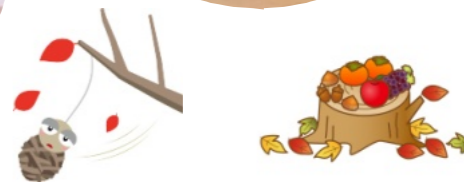
事故防止対策研修



真龍小学校学習発表会見学

真龍小学校様よりご招待いただき、10月12日に入所者様数名で、真龍小学校学習発表会総練習を見学させていただきました。時間の都合上全ての発表を見ることはできませんでしたが、一生懸命に歌や踊り、楽器を演奏したり、劇を行う子供たちを見て、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。また、笑点のメロディ演奏を聴いて、参加した入所者の皆様も思わず笑いごぼっていました。ご招待いただきました真龍小学校の皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

10月23日に職員を対象とした事故防止対策に関する研修会が開催されました。今回の研修では、高齢者の方の特徴の再確認、施設における事故防止対策の指針の確認の他、グループワークでは各フロアで発生した事故事例についての振り返りを行いました。事故防止における対策は、原因（要因）に対する対策であること、実行できる対策であること、また職員が周知して具体的に対応できるものが求められます。施設全体でのリスクマネジメント向上のため、今後も定期的な研修の機会を設けていきたいと思っております。



入所者様のお元気な様子をお伝えします



編集後記
広報を担当しています心と園生活相談員の本庄です。11月となり、日が短くなってきました。もうすぐ今年も終わり、また新たな年を迎えますね。ところで、大人になると時間の経過が早く感じるなあとお感じになられたことはありませんか。その理由にはいくつかあるようです。1つは、ジャーネーの法則というもので、人が感じる1年の長さは年齢と反比例するということです。2つ目は、新たな経験が少なく、繰り返しが多いため、それだけ時間の経過が早く感じるようになるそうです。3つ目は、心拍数の法則です。子どもの方が大人より心拍数が高く、心拍数が高い方が時間の経過を長く感じるそうです。4つ目は、新しい知識を得ることが多いとその分時間の経過を長く感じるそうです。子どもの頃は長く感じた1年が、いつの間にか短く感じるのにはこのような理由があるようです。次号の黎明もお楽しみに。

行事ナツプ♪



★厚岸町民文化祭作品展★

厚岸町で毎年開催されている厚岸町民文化祭の作品展へ、今年も心和園の入所者の作品を出展させていただきました。

入所者の皆さんで協力して作ったシルールアートや籠作り、個人作品の手編みマフラーなどを展示させていただきました。

開催初日の10月20日には、手芸作品を見ることが好きな入所者様と一緒に、展示会場へ見学にいらしてきました。自ら関わって作成した作品や、他の出展作品を見学し、「すごくよかった！」と大変喜んでいただきました。



★おやつレク（ユニット）★

10月17日のユニットおやつレクはかぼちゃ団子のお汁粉と羊羹をご用意しました。かぼちゃや小豆の程よい甘さで、皆さんに喜んでいただけたようです。11月のおやつレクもお楽しみに。



★誕生会（ユニット）★



★誕生会（多床室）★

10月生まれの方の誕生会の様子です。記念撮影では少し緊張気味だったようです。



ユニットでは渡邊様が10月に誕生日を迎えられました。誕生会ではお寿司やケーキ、プレゼントも贈られ大変嬉しそうな笑顔でした。今後もお元気にお過ごしいただければと思います。

